

令和7年（2025年）度行政評価シート【個表】 令和 7 年 6 月 20 日

評価対象事業		評価者	観光課長 中澤 準	
市民-16	観光施設整備事業	☒ 自治事務	主管課	観光課
重点事業		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	6-(2) 観光	施策の方針	6-(2)-②観光基盤の整備・充実

1 事業の目的

対象	観光客等
意図	観光基盤施設を整備し、観光客が安全で快適に観光できる受入環境の整備を図るため。
効果	観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

2 令和6年(2024年)度を実施した事業の概要

観光客の誰もが安全で快適に観光できるように、観光案内板等の改修等や、ハイキングコースの安全確保、七里ガ浜のライブカメラ修繕等、観光客の受入環境の整備を行った。また、外国人観光客の観光の拠点となる屋外型Wi-Fi接続設備の維持管理及び更新を行った。 海岸下水道排水設備について、第1工区(由比ガ浜西)について建設工事を開始した。 報国寺が建設した公衆トイレに対する補助を行った。	
--	--

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和6年度		令和7年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	観光案内板等整備事業	観光案内板等の改修等	—	— / — 1,694 / 2,385	— 2,385	— 2,561	—
02	ハイキングコース等観光施設整備事業	ハイキングコースの安全対策、パトロール事業負担金	—	— / — 1,215 / 1,225	— 1,225	— 1,581	—
03	観光設備維持修繕料	観光施設に係る維持修繕料	—	— / — 735 / 1,547	— 1,547	— 1,547	—
04	観光Wi-Fi設置補助事業	屋内用観光Wi-Fi接続設備設置にかかる補助	—	— / — 0 / 500	— 500	— 0	—
05	観光Wi-Fi維持管理事業	屋外型Wi-Fi接続設備等回線使用料、保守委託	—	— / — 9,078 / 9,931	— 9,931	— 1,961	—
06	屋外ライブカメラ運用事業	七里ガ浜ライブカメラの修繕	—	— / — 239 / 239	— 239	— 239	—
07	一般事務経費		—	— / — 83 / 91	— 91	— 91	—
08	海岸下水道管等整備事業	設計業務の実施	—	— / — 52,086 / 285,572	— 285,572	— 23,724	—
09	公衆トイレ建設補助事業	公衆トイレ建設に係る補助	—	— / — 30,000 / 30,000	— 30,000	— 0	—
10				/ /			
		財源内訳	国県支出金	26,574 / 144,396	144,396	12,596	
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	68,556 / 187,094	187,094	19,108	
			事業費の合計(千円)	95,130 / 331,490	331,490	31,704	
			人件費(千円)		7,865	8,537	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.0	1.0	1.0	0.5	1.0	1.0
会計年度任用職員	0	0	0	0	0	0

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	観光案内板等整備事業	指標の設定なし 観光案内板の老朽化に伴う破損等による改修等のため。	観光客への目的地への道標であり、観光客の利便性を向上させ観光振興に寄与するものである。	効果的な案内板の設置や、老朽化している案内板の計画的な改修の実施
02	ハイキングコース等観光施設整備事業	指標の設定なし ハイキングコース等の維持及び安全対策を行っている費用であるため。	利用する観光客が多く、観光客の満足度を高めている施設の一つであり、観光振興に寄与するものである。	ハイキングコースの安全管理を市としてどのように行うかの検討
03	観光設備維持修繕料	指標の設定なし 観光施設の維持修繕を行っている費用であるため。	観光施設の維持修繕は、観光振興に寄与するものである。	突発的な修繕に対する対応
04	観光Wi-Fi設置補助事業	指標の設定なし Wi-Fi環境を整備するための補助金であるため。	補助要望が5年間ないため、廃止	制度廃止
05	観光Wi-Fi維持管理事業	指標の設定なし Wi-Fi環境を維持するための保守等の費用であるため。	観光客の利便性を向上させるもので、観光振興に寄与するものである。	Wi-Fiの運用
06	屋外ライブカメラ運用事業	指標の設定なし ライブカメラの維持に係る費用であるため。	観光客の利便性を向上させるもので、観光振興に寄与するものである。	ライブカメラの突発的な故障への対応
07	一般事務経費	指標の設定なし 一般事務経費であるため。		
08	海岸下水道管等整備事業	指標の設定なし 海岸の下水道の整備を行う事業であるため。	観光客の利便性を向上させるもので、観光振興に寄与するものである。	継続的な運用のための使用料の条例化、建設工事の完了のための設計の見直し
09	公衆トイレ建設補助事業	指標の設定なし 公衆トイレを建設するための補助金であるため。	観光客の利便性を向上させるもので、観光振興に寄与するものである。	建設資材費・人件費の高騰に応じた補助額の見直しの検討
10				

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか		1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		2 外部化に向けて検討できる事業がある
	関連・類似する事業の統合はできないか		3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		1 民間によるサービスで代替できる事業がある
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-1 今後、負担の導入を検討すべき事業がある
			○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済	協働実施済の場合のパートナー
			公益社団法人鎌倉風致保存会

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】 ☐ 拡充 ☐ 改善・変更 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止・廃止				
各施設について計画的に維持修繕を行うとともに、突発的な修繕にも対応できるよう、修繕予定箇所の優先順位付けを行う。また、施設整備に係る受益者負担の手法を検討する。				

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	観光客の満足度						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
当該事業の実施により、観光客の満足度を向上させるため。	目標値	88.5	89.0	89.0	89.5	89.5	90.0	
	実績値	81.0	88.0	86.5	87.0	85.0		
	達成率	91.5%	98.9%	97.2%	97.2%	95.0%		

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	入込観光客数(上段:令和5年・下段:令和4年)単位:千人							
団体名	鎌倉市	藤沢市	横須賀市	逗子市	三浦市	横浜市	川崎市	箱根町
他市実績	12,284	19,608	8,911	853	4,709	54,291	15,726	19,510
	11,958	17,002	7,953	750	4,210	42,345	15,082	17,360

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	県内全市町村が実施している入込観光客数調査において、鎌倉市は県内5番目であるが、面積は4市よりも小さいことから、他市に比べて観光客が密集していることが伺える。
--------------------------	---